学校番号	412

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高等学校「新現代社会」　（帝国書院）						
副教材等	使用しない。						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会における様々な課題について関心を持つ。
・社会人として必要な基礎的知識を身につける。
・主体的に考え、生きていく力を培う。

2　学習の到達目標

・現実社会で起きている具体事例を扱うことで，社会の課題を考察する。
・近代立憲主義や市場経済など，現代社会のさまざまな問題を考えるために必要な基礎・基本となる知識を確実に身につける。
・ある課題について異なる主張や立場，見方を，現代社会の諸課題を多面的・多角的に考える

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	諸課題に対する関心を高め,それらを意欲的に追究し,自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。	多面的･多角的に考察し,いかに生きるかについて社会の変化やさまざまな立場,考え方をふまえ公正に判断して,その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。	諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，学習に役だつ情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現状，社会のあり方を考察する基盤として知識を正確に理解し,身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1学期	現代社会の諸課題とそのとらえ方	＜環境＞ 人間の活動と環境問題(1) 人間の活動と環境問題(2) 地球環境問題に関する国際的な取り組み ＜人口・資源・エネルギー＞ 人口と食料・水資源の問題 エネルギー資源の問題 持続可能な社会に向けて″ ＜生命＞ 科学技術の発達と生命 生命倫理の考え方 ＜情報＞ 情報化の進展″	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:現代社会の諸課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。 b:現代社会の諸課題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし，幸福，正義，公正などの観点から多面的・多角的に考察し，いかに生きるかについて社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえ公正に判断して，その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。 c:現代社会の諸課題に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，学習に役だつ情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:現代社会の諸課題の現状，社会のあり方を考察する基盤としての幸福，正義，公正などについて理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

1学期	現代社会のしくみと私たちの生き方	＜第１節　青年期の意義＞ 1　青年期について考えよう 2　悩むことについて考えよう 3　男女について考えよう 4　社会参画について考えよう ＜第２節　よく生きるとは＞ 1　生きることについて考えよう 2　学ぶことについて考えよう 3　他者と共に生きることを考えよう 4　宗教について考えよう 5　日本人の思想について考えよう 6　日本の伝統と文化について考えよう	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:青年期に対する関心を高め，自己形成の課題を意欲的に追究し，現代社会に生きる青年としての自己の生き方について考察しようとしている。 b:青年期に関する諸事象から課題を見いだし，自己形成の課題と現代社会における青年の生き方について幸福，正義，公正などを用いて多面的・多角的に考察し，社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえ公正に判断して，その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。 c:青年期に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，学習に役だつ情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:生涯における青年期の意義，社会参加などについて理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

2学期	現代の民主政治と民主社会の倫理	＜第１節　民主社会の原理と日本国憲法＞ 1　近代立憲主義の原理″ 2　近代立憲主義の広がり 3　日本国憲法 4　平等権と差別 5　自由権(1) 6　自由権(2) 7　社会権，参政権，国務請求権 8　広がる人権の考え方 ＜第２節　日本の政治機構と政治参加＞ 1　国民主権と議会制民主主義 2　国会のしくみと役割 3　内閣と行政の役割と責任 4　世界の政治体制 5　司法の役割と責任 6　地方自治の役割 7　政党政治のしくみとマスメディア 8　選挙制度とその課題 9　平和主義と日本の防衛政策 10　これからの日本の安全保障	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の民主政治に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，民主社会における人間としてのあり方について考察しようとしている。現代の民主社会の法に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，個人の尊重と法の支配について考察しようとしている。 b:現代の民主社会の諸事象から課題を見いだし，民主社会において求められる価値や民主政治を基礎づける考え方などについて幸福，正義，公正などを用いて多面的・多角的に考察し，民主政治のあり方や民主社会における人間としてのあり方について社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえ公正に判断して，その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。現代の民主社会の法に関する諸事象から課題を見いだし，民主社会における個人と法について幸福，正義，公正などを用いて多面的・多角的に考察し，社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえ公正に判断して，その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。 c:現代の民主政治，個人の尊重と法の支配に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，学習に役だつ情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:基本的人権の保障，国民主権，平和主義と日本の安全，天皇の地位と役割，議会制民主主義と権力分立，個人の尊重，国民の権利の保障，法の支配と法や規範の意義および役割，司法制度のあり方について理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

2学期	現代の経済と国民の福祉	＜第１節市場経済のしくみ＞ 1　経済活動と市場経済の考え方 2　市場のメリットと限界 3　経済の変動 4　企業の役割 5　中小企業と農業の問題 6　金融の役割 7　政府と財政の役割 8　財政の課題 ＜第２節　豊かな社会の実現をめざして＞ 1　公害対策と環境保全 2　自立した消費者へ 3　労働者の権利と労働問題(1) 4　労働者の権利と労働問題(2) 5　社会保障の考え方	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:現代の経済社会の諸事象に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，経済活動のあり方について考察しようとしている。 b:現代の経済社会の諸事象から課題を見いだし，個人や企業，政府の経済活動における役割と責任などについて幸福，正義，公正などを用いて多面的・多角的に考察し，経済活動のあり方について社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえ公正に判断して，その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。 c:現代の経済社会に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，学習に役だつ情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:現代の経済社会の変容，市場経済の機能と限界，政府の役割と財政・租税，金融，経済成長や景気変動と国民福祉の向上，雇用，労働問題，社会保障，公害の防止と環境保全について理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

3学期	現代の国際社会と日本の役割	＜第１節　国際経済の動向と貧困の解消＞ 1　国際経済のしくみ″ 2　国際経済の枠組み 3　地域経済統合のゆくえ 4　グローバル化と自由貿易協定 5　新たな国際経済の秩序 6　経済格差とその是正 ＜第２節　国際政治の動向と平和の追求＞ 1　国際社会における国家 2　戦後の国際情勢 3　現代における紛争 4　国連の成立と役割 5　国連の課題 6　核兵器と軍縮 7　世界的な人権保障の動き 8　国際協力と日本の課題	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会における政治や経済の諸問題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，国際社会における日本の果たすべき役割および日本人の生き方について考察しようとしている。 b:国際社会の動向や諸問題から課題を見いだし，国際平和や国際協力，国際協調の必要性及び国際的な組織の役割について幸福，正義，公正などを用いて多面的・多角的に考察し，国際社会における日本の果たすべき役割および日本人の生き方について社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえて公正に判断して，その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現している。 c:国際社会の動向や諸問題に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，学習に役だつ情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:国際社会の動向，人権，国家主権，領土に関する国際法の意義，人種・民族問題，核兵器と軍縮問題，日本の安全保障と防衛および国際貢献，地域的経済統合，南北問題など国際社会における貧困や格差，国際的な組織の役割について理解し，その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a：関心･意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている